



スクールレポート

SCHOOL REPORT 79

学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での「ノリの学習」と「書に親しむ会」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

福江小学校 「ノリの学習」

福江の海で採れるノリは、福江の宝

福江小学校では、長い間、地域在住の高橋信夫さんの指導のもと、黒ノリ作りに取り組んできました。

10月、黒ノリ作りは竹打ちから始まります。海の底に機械で穴をあけ、その穴に網を張るための竹を打ち込みます。11月、種が小さなノリとして育ち始めた網をみんなで張り、冷たい海での黒ノリの成長を祈りました。1月には、北風が冷たく吹く中、収穫が始まります。子どもたちは「手がしびれる」と言いながらも、ざるが山盛りになるほどのノリを収穫しました。翌日は、親子でノリすき体験をしました。ノリのみそ汁を会食し、自分たちの手で育てた海の幸を親子で味わいながら、海の恵みに感謝する会になりました。

感想には、「ノリを1枚作るのも大変なのに、これを何百枚も作ることは大変だと思いました。でも、福江の海で採れるノリは、福江の宝であり、いつまでもきれいな海を守っていきたいと思いました」といったものがありました。子どもたちが、ふるさと「福江の海」の素晴らしさを実感した学習になりました。



▲ノリの収穫の様子(写真上)とノリすき体験の様子。高橋さんが優しく指導してくれました



▲強く筆を入れる児童(写真上)
それぞれが書いた一文字とともに記念撮影(写真下)

泉小学校 「書に親しむ会」

卒業記念、自分の思いを一文字書に

泉小学校の6年生は2月に卒業記念として一文字書を行います。穂長14cmの太筆で50cm四方の色紙に漢字一文字を大書します。今年も、東三河を代表する書家の佐藤貴久江さんをはじめ、4名の先生にご指導いただきました。

海のように広くて大きな心をもちたいから「海」、正直な気持ちをもって中学校へ進学するために「心」など、子どもたちは自分ならではの一文字を決めて書きました。他に「友」「志」「希」「努」「信」などの字があり、それぞれから自分の思いが伝わってきました。筆や色紙が大きいのでどの子も初めは緊張気味でした。

しかし、筆をゆっくり運んで書いているうちに、気持ちを込めたり楽しんだりする余裕も感じられるようになってきました。

書き上げた後は、消しゴムで作った自作の落款^{らっかん}を色紙に押しました。白い部分のどこに印を押せばよいのか、自分の書と向き合ってじっくり考えている児童の姿が見られました。

卒業式には体育館の壁に、一人一人の書が飾られました。